



「大阪市こわしは許されへん」——これまでの垣根をこえて、橋下市長の「大阪都」(大阪市廃止・解体)構想ストップの一点で共同する市民の輪が広がっています。

これこそ明日の大阪をひらくたしかな力です。

## 政令市・大阪市のもてる力を、 くらし・福祉の充実へ

大阪市には政令市ならではの大きな権限、財源があります。その力を「府」に吸い上げるのではなく、市民のために真っ直ぐ使うなら、暮らし・福祉・医療は抜本的に充実できます。

公約違反の「敬老パス有料化」や「住吉市民病院廃止」に反対してきた共同の力を、市政転換へと大きく発揮していきましょう。

府も、市も、暮らしと福祉向上へ、二重三重に力を注ぐべきです。

### 市民と議会の力で

- 国保料、介護保険料の値上げをストップし、引き下げを
- 「35人学級」をひろげ、自校調理によるあたたかい中学校給食に
- 認可保育所の増設で待機児の解消を
- 公立幼稚園・保育所の民営化をやめ、充実を
- 高校卒業までの医療費助成に

### カジノも、ムダな巨大事業の浪費もストップ

「大阪市つぶし」に待ったをかければ、「大阪都」の「試金石」(橋下氏)という「カジノ(賭博場)」にストップがかかります。

また旧WTCとりんくうゲートタワービルの失敗は、「二重行政」ではなく、バブル期にゼネコン浪費事業に走った「政策の失敗」です。その本当の原因にメスをいれる共同の動きが広がります。これこそムダづかいをくり返さない保障です。

ここにメスを入れられない「維新」では、「都」でも、「特別区」でも、同じ間違いが起こります。

### 270万市民の声が 生きる市政と市議会へ

橋下市長の強権的で、乱暴なやり方に、大阪市議会では野党が一致して立ち向かい、地下鉄や水道民営化ストップをはじめ、共同の大きな力を発揮しています。

さまざまな政策や立場の違いをこえ、市民の利益にかなう方向を互いに議論し、探求するあり方こそ、市民の声を生かす市議会本来のあり方です。それをもっとも実践しているのが、いまの市議会での野党共同です。

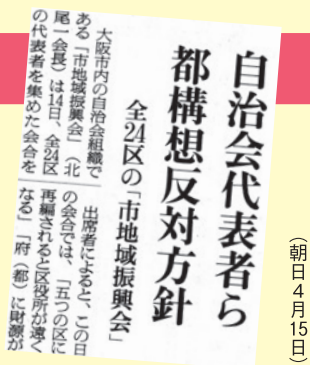
# 大阪市廃止・解体 「大阪都」ストップ 共同の力が大阪を変える

## 庶民の力で生き生きとした 大阪のまちをともに——

## 各層・地域で広がる共同

### 大阪市地域振興会

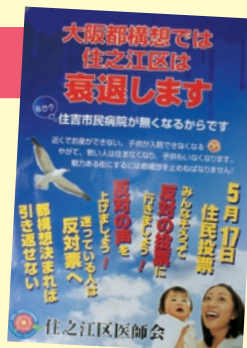
大阪市地域振興会は全24区の代表者で会合を開き、「住民サービスが低下する」などを主な理由に、「大阪都」(大阪市廃止・解体)構想に反対する方針を決めています。



(朝日4月15日)

### 医師会

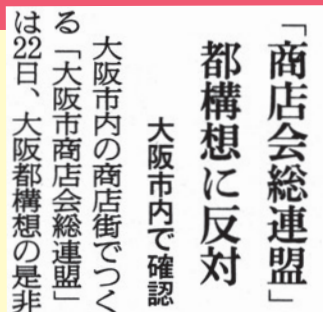
住之江区の医師会は、「大阪都構想では住之江区は衰退します。住吉市民病院がなくなるからです」と理事会で決定し、ポスターを各医療機関や地域で貼り出しています。



住之江区医師会の「都」構想反対ポスター

### 大阪市商店会総連盟

大阪市の商店会で作る「大阪市商店会総連盟」は、「愛する大阪をつぶしたくない」の思いで一致。大阪市の廃止・分割に反対する方針を決め、各商店会でポスターの貼り出しをすすめています。



(朝日4月23日)

### 衛星都市でも共同して「維新政治ノー」



(朝日4月27日)

4月26日投票の吹田・八尾・寝屋川の各市長選挙では、いずれも「反維新」の共同候補が、「維新候補」に勝利しました。



**5月17日の住民投票では「反対」とお書き下さい。**